

国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー公式訪問

「ガバナーアドレス」

ガバナー 森本芳宣

私の年度においても新型コロナウイルスの影響により国際協議会はバーチャル研修となりました（2022.2/7～2.15）R I 会長ジェニファー・ジョーンズさんはロータリーの歴史で初めての女性会長です。テーマは「イマジン・ロータリー」～大きな夢をかなえたロータリーを想像して～また、会長は「ストーリーを発信しよう」と言われています。彼女自身がロータリーの力によって強力な人脈が出来、年月を超えて世界がつながったストーリーを 2 つ示されています。私たちには皆夢があります。ロータリーのような団体がポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くならそれを実現させる責任は自分たちにある。それは未来を描くことです。ポリオのない世界、みんなが水を使える世界、疾病のない世界、すべての子供が読むことのできる世界を想像してください。やさしさ、希望、愛、平和を想像してください。だからこそ「イマジン・ロータリー」がテーマとなると説明されています。

私は R I 会長が示されたテーマのロゴがわかりやすいと思われまますので説明します。

このロゴには各所に深い意味が込められています。「円」は互いにつながっていることを意味しており、「7 つの点」は人を表すと同時に、ロータリーの七つの重点分野を表しています。丸と点を一緒にすると航路を示す星、つまり私たちの道しるべになります、その下の太い線はいわゆる「掘り出し棒」でロータリーの会員にとって物事を成し遂げる道具です。色は、紫は「ポリオ根絶」、緑は重点分野「環境」、白は私たちの中核的使命である「平和」を表しています。私の基本方針として「行動し実践することにより“ロータリーの輪”を拡げよう。」としました。私自身世界でいいことをしている人たちの応援をしたいという意識の中で寄付をして 10 数年経ちましたが行動し実践する事にも力を注ぎたいと思います。しかし、いま世界が七つの重点分野の「平和の推進」「地域経済の発展」「疾病との闘い」「環境」、ほかの 3 分野にも及ぶと思いますが、コロナウイルスとウクライナ紛争によってロータリーだけでない重点分野になっています。コロナウイルスの終息、ウクライナ戦争終戦による世界平和、物価高騰よりの安定化、脱炭素（環境）社会の再転換はまだ見えませんが、2640 地区で私が行動して実践することはまず地区の活性化だと考えます。活性化のためには会員を増強する必要があります。今会員数が 1600 人（65 クラブ）前後となっています。3 年で 200 人余（1 年あたり数十人）減少しています。コロナの影響もあるでしょうが、日本のロータリアンはこの 1 年で増加しています。減少を食い止め、増加するためにはポイントは D.E.I（多様性、公平さ、インクルージョン）になると思います。

私は 2640 地区で多様性を考えるとき、女性会員はもちろん年齢幅を大きく取ることが大事です。年齢が若い人だけでなく、80 歳以上で青春時代の人も多くおられます。

女性も含め幅広い年齢の会員が増強されたクラブが増えることを期待します。